

科目名	履修学年	単位数	教科書	副教材等
ビジネス情報	3	4	東京法令出版 ビジネス情報新訂版	実教出版 学習と検定全商情報処理検定テキスト1級ビジネス情報部門 東京法令出版 全商ビジネス文書実務検定試験問題集 実教出版 全商情報処理検定模擬試験問題集ビジネス情報1級
到達目標 ①情報社会における情報処理の基本的な考え方を身につける。 ②それぞれ各ソフトウェアに関する知識と技能を身につける。				

評価の観点	評価の内容
a 関心・意欲・態度	意欲的かつ継続的に取り組み、積極的に授業に臨んでいるか。
b 思考・判断・表現	身に付けた知識・技術を適切に活用し課題に取り組んでいるか。
c 技能	ソフトウェアを有効に活用することが出来るか。
d 知識・理解	各ソフトウェアに関する知識を身に付け、深く理解しているか。
評価の方法 各定期考査、単元テスト、課題等の提出状況、学習活動への取組などの総合評価となります。	

年間指導計画													
前期							後期						
月	予定 時数	学習内容	評価の観点				月	予定 時数	学習内容	評価の観点			
			a	b	c	d				a	b	c	d
4	1	オリエンテーション					10	14	プレゼンテーション(個人) テーマ「自身の進路について」	○	○		
	10	ビジネス文書 筆記編	○			○		14	プレゼンテーション(集団) テーマ「羽幌町の課題について」	○	○		
5	10	ビジネス文書 実技編		○	○		11	1	後期中間考査				
6	13	ビジネス文書 問題演習	○		○	○		◇全商ビジネス文書検定					
	1	前期中間考査					第 4 章 ソフトウェアを活用し たシステム開発						
	10	情報処理 筆記編	○			○	10	第 1 節 アルゴリズム	○			○	
	7	10	情報処理 実技編		○	○	12	15	第 2 節 表計算ソフトウェアの 活用		○	○	○
8	14	情報処理 問題演習	○		○	○		15	第 3 節 システム開発		○	○	○
9	1	前期期末考査					1	1	後期期末考査				
		◇全商情報処理検定					2	◇全商情報処理検定					
							3						
							計 140						

※原則として一つの単元ですべての観点について評価するが、特に重点的に評価を行う観点について○をつけている。

履修上および学習上の留意事項 ・授業に必要な教科書問題集等を忘れないこと。 ・授業に関係なくコンピュータを使用しないこと。 ・授業で身に付けた力を自身の進路に活用するために積極的に各種検定を受検すること。 ・日頃からコンピュータを使用し、慣れておくこと。 ・検定問題集を利用した問題練習を行うこと。 ・自身の進路との兼ね合いを考えながら検定を受検することも考えること。
